

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 後山川通常砂防事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor-2		調査位置	広島県福山市鞆町後地		北緯	34° 23' 07.9985"		
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	令和2年 4月10日～ 令和2年 4月20日		東経	133° 22' 37.8581"	
調査業者名	TP		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	49.56m	角	180° 上 90° 下 0°	方	0°北 270°西 0°東 180°南	地盤勾配	30° 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 東邦地下工機 D-0 エンジン ヤンマー NFD13
総削孔長	10.00m	度	0°	向	0°	ポンプ	東邦地下工機 BG-3		

標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 相 対 密 稠 度	相 対 密 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						自沈時の貫入量 (m)	深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 月 日	
										深 度 - N 値 図		N 値	深 度 (m)	100m毎の打撃回数	打撃ごとの貫入量						50回の貫入量
1			○●○●	玉石混り砂質土	褐灰 rd3			未固結の玉石混り砂質土。コア長10cm前後の玉石を混入し、径5~50mm前後の亜角礫主体。砂分は細粒砂が優勢。細粒分やや多い。深度1m付近まで植物根を含む。深度2mの標準貫入試験は機障害で50以上を測定。深度3.5~3.7m間、玉石が連続。岩片硬質を呈する。	4/17 3.60	11	1.15	4	4	3	11	300				4/17	
2			○●○●	玉石混り砂質土	褐灰 rd3					11	1.45	26	24	50	120						
3			○●○●	玉石混り砂質土	褐灰 rd3					11	2.15	26	20	50	120						
4	45.56	4.00	○●○●	玉石混り砂質土	褐灰 rd3					11	2.27	20	20	420							
5			●●●●	礫混り砂質土	黄灰 rd3			未固結の礫混り砂質土。径5~80mm前後の亜角礫が主体で不均質に混入する。礫間の土砂は細粒砂が優勢。細粒分が多く、粘性を帯びる。深度方向へ次第に固結する。	4/20 4.50	17	3.15	8	6	6	20	300					
6			●●●●	礫混り砂質土	黄灰 rd3					17	3.45	6	3	8	17	300					
7	42.16	7.40	●●●●	流紋岩	灰			流紋岩の風化部。半固結した礫状コアで採取。		17	4.15	6	3	8	17	300					
8	41.66	7.90	●●●●	流紋岩	灰			流紋岩(軟着)。コア長3~10cm前後の外周を残す礫状コアで採取。亀裂間に土砂を挟む。岩片硬質を呈する。		21	4.45	6	7	8	21	300					
9			●●●●	流紋岩	灰					21	5.15	6	7	8	21	300					
10	39.56	10.00	●●●●	流紋岩	灰					29	5.45	9	10	10	29	300					
11			●●●●	流紋岩	灰					29	6.45	11	16	16	43	300					
12			●●●●	流紋岩	灰					43	7.15	11	16	16	43	300					
13			●●●●	流紋岩	灰					50	7.45	12	12	12	50	60					
14			●●●●	流紋岩	灰					50	8.05	50	60	60	60	60					
15			●●●●	流紋岩	灰					50	9.10	38	12	10	50	110					
			●●●●	流紋岩	灰					50	9.21	16	34	50	160						
			●●●●	流紋岩	灰					50	10.10	16	34	50	160						
			●●●●	流紋岩	灰					50	10.25	16	34	50	160						